

原文

国民党による中国統一がせまるにつれ、中国人による排日運動もはげしくなり、列車妨害や日本人学生への迫害などが頻発した。さらに日本にとって、北にはソ連の脅威があり、南からは国民党の力もおよんできた。

上図 满鉄沿線で発生した事件の件数

排日運動の原因とその後の経緯について、理解し難い表現である。

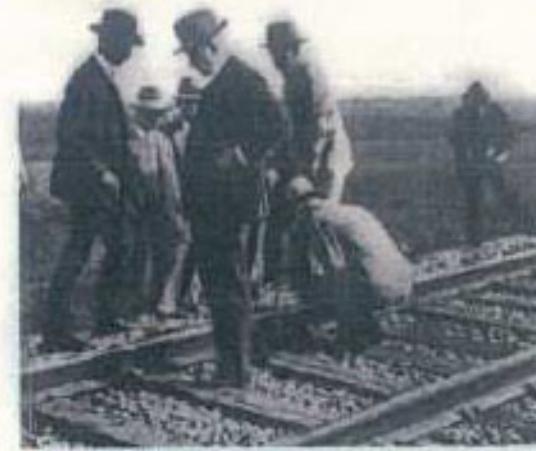
修正文

関東軍が、滿州の軍閥・張作霖を撲殺するなど滿州への支配を強めようすると、中国人による排日運動もはげしくなり、列車妨害や日本人への迫害などが頻発した。さらに日本にとって、北にはソ連の脅威があり、南からは国民党の力もおよんできた。こうした中、關東軍の一部将校は滿州を軍事占領して問題を解決する計画を練りはじめた。

図・キャプションとも削除

90番の間違修正(スペースの調整のため)

p.197地図 满州事変と満州国の連圖



④リットン調査団



⑤・一五事件を報じる新聞
立っているのが松岡洋右内閣全權。採決の内容に抗議して、このあと、総会から退場する。

p.196 右上に移動



⑥五・一五事件を報じる新聞



⑦リットン調査団

⑧国際連盟判決 立っているのが松岡洋右内閣全權。採決の内容に抗議して、このあと、総会から退場する。